

2006年5月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2006年4月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

株高島屋計	分社4店含む実質
+1.9	+2.4

4月度は百貨店事業、通販事業が順調に売上を伸ばし、分社4店含む実質では+2.4%となった。昨年9月度以降、8ヵ月連続で前年売上実績を上回った。

分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+2.2	+2.7

不安定な天候が多く、初夏向けのファッション商品の動きが鈍かったが、春物商材等の積極的な営業展開や高額商品群の好調な売上等により、18店中12店が前年売上実績を上回った。18店計の売上は+2.7%で、7ヵ月連続の前年実績クリアとなった。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大坂店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	+2.9	+2.7	+5.6	+3.8	+25.8	+5.5
入店客数	3.6	+1.9	+3.5	+0.2	+27.2	+2.0

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
+3.0	+4.3

大坂店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

大坂店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	0.9	+4.7	1.2	+6.4	0.3	3.6	+2.0	+0.2
入店客数	4.0	+1.2	5.3	1.7	3.4	4.2	3.2	0.1

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+1.7	+1.7

横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は単店になります。

関西地区では9店中7店が前年実績を上回った。大坂店はリビング、呉服、特選衣料雑貨等の高額商品群に加え、紳士・婦人の衣料品・雑貨等も前年実績をクリア。京都店は、宝飾品や呉服、特選衣料雑貨等が前年から2桁売上を伸ばしたが、紳士・婦人の衣料品・雑貨等は伸び悩んだ。3月に改装オープンした洛西店では強化した食料品、リビングが前年実績から売上を2桁伸ばした。また、全館改装効果が持続する岐阜店は7ヵ月連続、泉北店は3ヵ月連続で前年実績をクリア。

関東地区では9店中5店が前年実績を上回った。東京店は美術、宝飾品や売場改装をした呉服等の高額商品群の動きが良かったが、紳士・婦人のファッション商品群は前月に比べて伸び率が鈍化した。横浜店は宝飾品、特選衣料雑貨等の高額商品群に加え、紳士・婦人の衣料品・雑貨等も前年実績をクリアし、好調を継続。新宿店は宝飾品、リビング等が前年実績を上回ったが、衣料品等は伸び悩んだ。その他、玉川店は10ヵ月連続、高崎店は14ヵ月連続で前年実績をクリアした。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	5.6	+5.2	1.5

法人事業は企業向け販促品等で新規物件があったものの、前年実績のある物件での規模縮小や中止等により、前年実績には至らなかった。通販事業は婦人衣料・雑貨、リビング、食料品が好調で前年実績を上回った。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	株高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	+0.6	+0.9
婦人服・洋品	+0.6	+1.3
子供服・洋品	1.5	2.4
その他衣料品	+6.4	+5.8
衣料品計	+0.8	+1.1

	株高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	+5.6	+6.2
家具	1.2	1.7
家電	53.6	52.5
その他家庭用品	+3.2	+3.4
家庭用品計	2.5	2.2

	株高島屋計	分社含む実質
食料品	+4.9	+5.4
食堂・喫茶	+1.6	+2.6
雑貨	0.7	0.3
サービス	+0.8	+1.3
その他	0.2	0.2
合計	+1.9	+2.4

当社分類による百貨店事業の商品別概況

不安定な天候や気温の影響から初夏向けアイテムの動きが鈍く、買い替え需要等に遅れが出た。紳士服(前年対比+5.0%)ではビジネス関連の動きは良かったが、薄手のニットやベスト、半袖シャツ等、カジュアル衣料では初夏物への切り替えが進まなかった。婦人服(同+1.9%)では引き続きスプリングコート等の春物商材の動きは良いが、綿や麻素材のジャケット等は伸び悩んだ。婦人雑貨(同+3.7%)でもサンダル、サングラス、ハラル等の動きは鈍いが、化粧品・ハンドバック・アクセサリ等の主要アイテムは順調に売上を伸ばした。その他、美術(同+21.6%)、特選衣料雑貨(同+7.4%)、呉服(同+6.4%)、宝飾品(同+5.2%)といった高額商品群等も前年実績を上回った。